

BANDAI NAMCO NEWS

BANDAI
NAMCO

株式会社バンダイナムコホールディングス

〒140-8590 東京都品川区東品川4-5-15 バンダイナムコ未来研究所

Management

トップインタビュー

売上高4,000億円・営業利益110億円を達成し信頼の回復に向けた第一歩としたい

バンダイナムコグループは、今年2月に発表した「リスタートプラン」に基づき、スピードあるグループへの変革を推進しています。今回は2011年3月期第1四半期の業績と今後の見通し、各事業の状況について、(株)バンダイナムコホールディングスの石川祝男社長に聞きました。



(株)バンダイナムコホールディングスの石川祝男社長

国内トイホビーの好調などで第1四半期は増益スタート

——第1四半期の業績を発表しました。

石川 2011年3月期第1四半期は、トイホビー事業の「仮面ライダー^{ダブル}W」や「ハートキャッチプリキュア！」など定番キャラクター玩具やデータカードダスなどのカード商材が好調に推移しました。これに加え、リスタートプランに基づき、コンテンツ事業とアミューズメント施設事業で行ったさまざまな施策により、コスト削減効果を発揮することができました。これらの結果、第1四半期の業績は3つの事業全てで前年同期比で増益となり、全体では売上高819億12百万円、営業利益29億53百万

円、経常利益29億42百万円となりました。また、有価証券評価損と資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上した結果、四半期純損失は16億44百万円となりました。(各事業の詳細につきましては5ページをご参照下さい)

——第2四半期累計期間(上期)および通期の見通しについて、教えてください。

石川 足元の夏休み商戦においても、国内のトイホビー事業が引き続き好調に推移しています。これを受け、上期業績予想については営業利益と経常利益を上方修正しました。5月時点の予想では、営業損失10億円、経常損失10億円の赤字を見込んでいましたが、これを営業利益15億円、経常利益15億円で修正しました。なお、売上高1,750億円、純損失35億円の予想に変更はありません。

通期予想については、各事業の主力商品・サービスが第3四半期以降に集中していること、また不透明な事業環境が続いていることから、年初計画である売上高4,000億円、営業利益

110億円、経常利益105億円、当期純利益45億円からの変更はありません。——リスタートプランは順調に進んでいますか？

石川 具体的な成果が数字として表れるのはこれからだと思いますが、財務体質の強化とスピードあるグループへの変革に向け、各現場でさまざまな動きが進んでいます。第1四半期業績についての説明でも触れさせていただきましたが、コンテンツ事業やアミューズメント施設事業において、コスト面などで効果が出てきています。

また、定時株主総会以降、各事業の主幹会社代表取締役がバンダイナムコホールディングス取締役を兼務する体制となりました。これにより経営と事業が直結し、意思決定や行動がスピードアップしていると感じています。各社がバンダイナムコグループとして今まで以上に一つにまとまり一丸となって経営できる体制になってきているのではないのでしょうか。

(次ページに続く)

Contents

Management	1~3
Holdings News	4
Financial Data	5
Group News	6~10
Group Companies/Portrait	11
Information	12

——トイホビー事業が好調とのことですが、今後の動きについて教えてください。

石川 好調な国内では、圧倒的No.1の地位確立に向け、定番キャラクターのさらなる強化を図ります。まず、7月よりスタートしたトイホビー商品発コンテンツの新番組「デジモンクロスウォーズ」に合わせ、幅広いカテゴリーで商品化を行い、小学生男児における定番化を目指します。また、9月には仮面ライダーの新番組「仮面ライダーオーズ」がスタートします。商品面では、メダルを核に玩具、データカードダス、玩具菓子などを連動させ、グループの相乗効果を発揮していきます。

このほか、ガンブラ（ガンダムプラモデル）30周年企画も本格始動しました。7月に発売した30周年記念の新ブランド「RGシリーズ」が好調な出足です。また、18メートルの1/1ガンダム立像を展示している「模型の世界首都 静岡ホビーフェア」が最初の2日間で6万人以上を動員するなど注目を集めています。これに加え、8月の東京を皮切りに、全国主要都市でイベントを開催し、もっとガンブラ30周年を盛り上げていきたいと思えます。

さらに、「ハイパーヨーヨー」や「VooV」など好調な新カテゴリーにおいても、継続的に商品を発売し強化を図ります。

——海外のトイホビー事業についてはどうですか？

石川 欧米を中心に「BEN10」の商品が堅調に推移していますが、全体的には厳しい状況が続いています。今年度については、プリスクールキャラクターや女兒キャラクターなどの新コンテンツや、男児向けホビー商品、女兒向けホビー商品などの新カテゴリーを投入し、中長期的な成長に向けたコンテンツやカテゴリーの育成を行います。また、2011年か

らは、Saban Capital Groupにより制作される「パワーレンジャー」のTV新シリーズの放送がスタートする予定です。バンダイナムコグループ

では、このワールドワイドでのマスターライセンスを取得しましたので、TV放送に合わせ、今後積極的に商品展開していきたいと思えます。

多様化するコンテンツの出口環境に対応し コンテンツ価値最大化を目指す

——コンテンツ事業を取り巻く環境をどうとらえていますか？

石川 国内の家庭用ゲームソフトでは「ワンピース ギガントバトル！」や「仮面ライダーバトル ガンバライド カードバトル大戦」などキャラクタータイトルが好調に推移しています。一方、海外では新規タイトルが苦戦するなど、依然パッケージ市場における不透明な環境が続いていると言えます。第3四半期以降に予定している「ENSLAVED」^{エンズレイブド}「SPLATTER HOUSE」^{スプラッターハウス}などの主力タイトルについても楽観視することなく、プロモーションや営業面での選択と集中を行い、計画達成に向け全力で取り組みたいと思えます。コンテンツ事業は、今年度より従来の出口別からコンテンツ軸の組織に移行し、コンテンツ価値の最大化を目指し、スピーディなビジネス展開を行っています。多様化する出口環境とユーザー嗜好の変化に対応すべく、パッケージソフトなど従来の出口に加え、スマートフォンやSNSなど、新たな出口に向けたコンテンツ活用も加速させています。環境の変化を慎重にとらえつつも、新たな市場に向けて臨機応変な対応を行い、バンダイナムコならではのビジネスモデルの構築を行っていききたいと思えます。

——新たなプラットフォームへの対応は？

石川 すでに、ニンテンドー3DS、PlayStation Move向けにタイトルを

提供することを発表しました。ニンテンドー3DS向けには「リッジレーサー（仮称）」など5タイトルを開発中です。PlayStation Move向けには「BIG 3 GUN SHOOTING」^{ビッグスリーガンシューティング}をプラットフォーム発売と同時に発売します。また、Xbox 360向けのKinect^{キネクト}に向けても、積極的に対応していきたいと思えます。これらのプラットフォームの登場により、ゲーム市場は活気が出ると考えており、ソフト面でもバンダイナムコグループから話題喚起を図っていききたいと思えます。

——そのほかのコンテンツ事業の主力商品について教えてください。

石川 家庭用ゲームソフトでは、今年2月に発売しスマッシュヒットとなった「GOD EATER」^{ゴッドイーター}の第2弾「GOD EATER BURST」^{ゴッドイーターバースト}を10月に発売します。今後は海外市場も視野に新規フランチャイズとして大事に育てていきます。業務用ゲーム機では、秋稼動開始予定の「機動戦士ガンダム エクストリームバーサス」の商談会での評判が上々です。ゲーム



機の販売とアミューズメント施設への集客の両面で貢献してくれるのではないのでしょうか。また、ワンピースなどのクレーンゲーム機向けの景品や、コアファンに向けたキャラクターくじの展開などが好調で、第2四半期以降も期待できそうです。

映像パッケージソフトでは、「機動戦士ガンダムUC」の第2話「機動戦士ガンダムUC episode2 赤い彗星」の展開が10月よりスタートします。イベント上映、配信、パッケージ販売の相乗効果で最大化を目指し、第1話のヒットに続きたいと思います。

承認いただくことができました。また、例年を上回る大勢の方々にご出席をいただき、心よりお礼を申し上げます。運営面で至らないところもあったかと思えます。株主の皆様からいただいたご質問からも、バンダイナムコグループを応援してくださいという強い想いを感じることができました。そのご期待に応えるためにも、リスタートプランをしっかりと遂行していかなければならないという思いをさらに強くしました。

冒頭でお話しさせていただいたとおり、2011年3月期は良い形でスタートを切ることができました。しかし、私たちとしては、年間計画である売上高4,000億円、営業利益110億円が達成できて初めて信頼の回復の第一歩となると考えております。年間最大の年末年始商戦に向け、グループ一丸となり全力を尽くしたいと思えます。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

生誕30周年の「パックマン」を全世界で展開 3D対応の新作アニメーションも制作中

——「パックマン」が生誕30周年を迎えました。

石川 国内外で30周年プロジェクトの展開について発表を行いました。特に海外市場での根強く熱いパックマン人気を感じました。今後グループを挙げ「PAC IS BACK!」をコンセプトにさまざまな取り組みをワールドワイドで行っていきます。商品・サービスだけでなく、2012年の放送を目標に、グループの事業アドバイザーである Avi Arad氏をエグゼクティブ・プロデューサーに迎えた「パックマン」をテーマにした3D対応の新作アニメーションも制作中です。「パックマン」はガンダム同様、グループにとって重要なコンテンツの1つです。私自身も「パックマン」に対しては強い思い入れがありますので、2010年を起点に「パックマン」を世界で大いに盛り上げていきたいと思っています。

——アミューズメント施設事業はどうですか？

石川 アミューズメント施設事業では、「ポケットモンスター」や「天装戦隊ゴセイジャー」、「仮面ライダーW」を活用した夏季商戦キャンペーンやタイアップイベント、「たまごっち」や「ウルトラマン」などの期間限定のパッケージ型遊戯コーナー導入など、バンダイナムコグループならではの差異化された展開を推進しています。また、旗艦店舗のナムコ・ナンジャタウンでもキャラクターイベントの実施などにより、集客

が向上しています。アミューズメント施設市場自体も、一時の大変厳しい状況からは徐々に立ち直りつつあります。これらの取り組みにより国内既存店売上高で前年比100%を目指したいと思えます。また、効率化に向けた取り組みも収益面で効果を上げていますので、引き続き進めていきます。

——今年の株主総会について感想を聞かせてください。

石川 株主総会ではすべての議案を

新任役員

6月21日に開催された(株)バンダイナムコホールディングス定時株主総会および取締役会で以下の新任役員が就任しました。

■取締役 浅古 有寿(あさこ ゆうじ)

1986年4月 (株)バンダイ入社
2005年8月 同社経理部ゼネラルマネージャー
2005年9月 (株)バンダイナムコホールディングス 経営管理部ゼネラルマネージャー
2006年4月 当社経営管理部ゼネラルマネージャー 兼 (株)バンダイナムコゲームス取締役(現職)
2008年4月 当社執行役員経営企画本部長



■取締役(非常勤) 橘 正裕(たちばな まさひろ)

1978年4月 (株)ナムコ(現バンダイナムコゲームス)入社
1988年6月 同社取締役
1989年6月 同社常務取締役
2005年4月 同社専務取締役
2005年9月 (株)バンダイナムコホールディングス取締役
2008年4月 当社取締役 兼 (株)ナムコ代表取締役社長(現職)
2009年6月 当社上席執行役員



■常勤監査役(社外) 神足 勝彦(こうたり かつひこ)

1982年4月 ピート・マーウィック・ミッチェル 会計士事務所入所
1986年3月 公認会計士登録
1988年8月 中央新光監査法人入所
2005年6月 (株)バンダイ常勤監査役



「パックマン」の生誕30周年を記念して さまざまな製品をワールドワイドで展開

バンダイナムコグループは、生誕30周年を迎えた「パックマン」の今後の展開について、6月～7月に米国と日本で発表しました。

バンダイナムコグループでは、2010年を起点に、「PAC IS BACK!」のキャッチコピーのもと、さまざまな展開を予定しており、ワールドワイドで家庭用ゲーム機やパソコン、携帯電話、スマートフォン向けの新作タイトルをはじめ、新型業務用ゲーム機、キャラクター商品などを順次発売します。

これに加え、グループの事業アドバイザーに就任したAvi Arad氏がエグゼクティブ・プロデューサーをつとめる3D対応の新作アニメーションを制作。2012年よりワールドワイドを視野に入れた放映を計画しています。

今後、バンダイナムコグループでは、製品・サービスと映像展開の相乗効果により、「パックマン」の世界観の普及をさらに図っていく計画です。



「パックマン」の新作アニメーションのキャラクター ©NBGI

◆パックマンとは

1980年7月に発売した業務用ゲーム機。同年10月に米国に進出し、その人気は日本国内をはるかに上回り、キャラクターグッズは400種類以上が販売され、当時放映されたテレビアニメは最高視聴率56%を記録するなど、“パックマンフィーバー”といわれる空前のブームを引き起こしました。2005年6月には、“最も成功した業務用ゲーム機”としてギネス記録に認定。家庭用ゲーム機向けソフトやモバイルゲームコンテンツなどにも移植され、誕生から30年間世界中で愛され続けています。



7月8日に開催された「パックマン」のカンファレンスの模様。左から「パックマン」の開発担当者である岩谷徹東京工芸大学教授、石川祝男バンダイナムコホールディングス社長、Avi Arad事業アドバイザー、中村雅哉ナムコ・バンダイナムコゲームス名誉相談役、鶴之澤洋バンダイナムコゲームス副社長（チーフ・パックマン・オフィサー）

展開・計画中の「パックマン」の主な製品・サービス

2010年4月	・iPadコンテンツ「PAC-MAN for iPad」(ワールドワイド)
2010年6月	・iPhone/iPod touchコンテンツ「PAC-Match Party」(ワールドワイド)
2010年8月	・iPadコンテンツ「PAC-CHAIN for iPad」(ワールドワイド)
2010年秋以降	・業務用ゲーム機「PAC-MAN BATTLE ROYALE」(北米) ・Wii用ソフト「PAC-MAN PARTY」(ワールドワイド) ・PS3・Xbox 360用ソフト「PAC-MAN CHAMPIONSHIP EDITION DX」(ワールドワイド) ・iPhone/iPod touchコンテンツ「PAC-ATTACK」(ワールドワイド)
時期未定 (2010年度内)	・ニンテンドー3DS用ソフト「パックマン&ギャラガ(仮)」
2012年	・アニメーション「パックマンTVアニメ」(ワールドワイド)

※2010年8月上旬時点の情報につき、変更となる場合があります

CSR Topics

バンダイナムコの森で 巣箱などのメンテナンス作業を実施

(株)バンダイナムコホールディングスは、森林(もり)の里親となっている志賀高原の「バンダイナムコの森」(長野県山ノ内町)での活動の一環として、森に設置している巣箱11個、エコ標語プレート45個のメンテナンス作業を行いました。



バンダイナムコホールディングスは、2007年より志賀高原の約47ヘクタールの森林の里親となり、森林整備費用の一部負担に加え、グループ社員による森林整備や自然体験など、森林保護と理解につながる各種活動の場として活用しています。

2010年度版CSRレポートを発行 ホームページでも公開

バンダイナムコグループのCSR活動に関する考え方や、グループ各社の取り組み事例などについてまとめた「バンダイナムコグループ CSRレポート2010」が完成しました。今年度のレポートは、事業が社会に与える影響などから特に重点的に取り組む必要があるCSRのテーマについて報告する冊子版と、より詳細な情報開示を目的とするWEB版で構成されています。WEB版は当社ホームページで公開予定ですので、ぜひご覧ください。



URL: <http://www.bandainamco.co.jp/social/index.html>

バンダイナムコグループの2011年3月期第1四半期累計期間の業績は、トイホビー事業の国内定番キャラクター玩具やカード商材が好調に推移したことに加え、リスタートプランに基づき、コンテンツ事業、アミューズメント施設事業を中心に一定のコスト削減効果を発揮することができました。この結果、第1四半期累計期間の業績は表の通りとなりました。なお、特別損失として投資有価証券評価損、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上しています。

<トイホビー事業>

国内では「仮面ライダーW」や「ハートキャッチプリキュア！」などの定番キャラクター玩具、デジタルカードゲームのデータカードダスが好調に推移し、業績に大きく貢献しました。また、新たにターゲットの拡大を目的に投入した「ハイパーヨーヨー」、乗り物玩具の「VooV」も人気となりました。海外では「BEN10」のキャラクター玩具が堅調に推移したほか、欧米での中長期的な成長へ向けた新しいカテゴリーやコンテンツの開拓に着手しまし

たが、当第1四半期累計期間ではその成果を得るには至りませんでした。

<コンテンツ事業>

第1四半期累計期間については、国内外とも家庭用ゲームソフトの新規主力タイトルの販売がありませんでした。なお、2010年3月期に発売した「鉄拳6」のアメリカ地域販売分については、アメリカの会計基準に基づき、当第1四半期累計期間に計上しています。

業務用ゲーム機では、前年度末より展開を開始した「デッドストームパイレーツ」を中心に堅調に推移しました。映像音楽コンテンツについては、選択と集中により収益性が改善しましたが、携帯電話向けコンテンツは、有料会員数の減少に伴い低調に推移しました。

<アミューズメント施設事業>

国内で厳しい市場環境が続くなか、顧客セグメント別の営業戦略に取り組み、キャラクターの世界観を体感できる差異化された店舗を中心に堅調に推移し、既存店売上は前年同期比の96.3%となりました。一方、費用面では引き続き各種効率化施策を実施し、コストを削減することができました。

海外では、ヨーロッパ地域で低調に推移しましたが、アメリカ地域は2010年3月期に実施した効率化施策の効果により収益性が改善しました。

今期の見通しについては、第1四半期累計期間および直近で、国内のトイホビー事業が好調に推移していることなどから、今年5月7日に公表した第2四半期累計期間（上期）の業績予想を上方修正します。なお、通期の業績予想については、トイホビー事業、コンテンツ事業を中心に主力商品・サービスの提供が第3四半期以降に集中していること、さらには今後のエンターテインメント業界の事業環境については不透明な市場環境が続くものと想定されることから、前回予想数値から変更はありません。

今後も中期経営計画で掲げているグローバル経営基盤の整備をより確実に実行するため、リスタートプランに基づき、スピードあるグループへの変革、収益力向上・財務体質の強化に取り組みます。

◆2011年3月期第1四半期累計期間の連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益(▲損失)
第1四半期	81,912	2,953	2,942	▲1,644
前年同期比(%)	108.2%	—	—	—

◆2011年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益(▲損失)	経常利益(▲損失)	四半期純利益(▲損失)
前回予想('10年5月公表)	175,000	▲1,000	▲1,000	▲3,500
今回予想('10年8月公表)	175,000	1,500	1,500	▲3,500

◆2011年3月期通期の連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2011年3月期通期予想	400,000	11,000	10,500	4,500

◆2011年3月期第1四半期累計期間のセグメント実績

(単位:百万円)

事業分野	売上高	セグメント利益
トイホビー	34,812	4,110
コンテンツ	32,948	▲619
アミューズメント施設	14,770	157
その他	4,308	179

※セグメント別実績はセグメント間取引・全社費用消去前のものです。

※見通しに関してはさまざまな前提に基づいたものであり、記載された将来の予想数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

編集後記

夏休み商戦期間中は各地域でバンダイナムコグループの商品・サービスに関するさまざまなイベントが開催されました。お客様の生の声を聞くことができるこれらの貴重な機会を、年末年始商戦や

今後の企画開発に活かしていきたいと考えております。

リスタートプラン初年度の第1四半期の業績はおかげさまで黒字スタートを切ることができましたが、エンターテインメント業界を取り巻く環境は不透明で楽

観視できない状況が続いています。第3四半期以降投入する予定の各事業における主力商品・サービスで成果を発揮することができるよう、グループ一丸となり取り組んでまいります。

(広報IR担当)

『RG 1/1ガンダムプロジェクト』が始動 18メートルの1/1ガンダム立像が静岡に立つ

(株)バンダイ（上野和典社長）が、機動戦士ガンダムのプラモデル「ガンプラ」の生誕30周年を記念して展開する『RG 1/1ガンダムプロジェクト』が、7月24日に開幕しました。静岡市・東静岡広場で開催中の『模型の世界首都 静岡ホビーフェア』（主催：静岡市、共催：静岡ホビーフェア実施本部）に、「RG 1/1ガンダムゾーン」として来年の1月10日まで出展し、全高18メートルのRG 1/1ガンダム立像を中心に、限定ガンプラなどを販売するオフィシャルショップや、「GUNDAM Café Ver. Shizuoka」を含む飲食ブースなどを展開しています。

RG 1/1ガンダム立像は、ビーム・サーベルを新たに装備し、ガンプラをイメージしたマーキングを施しているほか、夜間のライトアップも一新。頭部の稼動、ミスト噴射ギミックとともに、よりリアルで臨場感溢れる仕様となっており、連日多くの来場者で賑わっています。



* 10月、11月はガンダム立像の演出などは休止となります。
©創通・サンライズ

『デジモンクロスウォーズ』の 関連商品を展開

バンダイは、7月より放送中のTVアニメ「デジタルモンスター」（以下、デジモン）シリーズの最新作「デジモンクロスウォーズ」（テレビ朝日系列／毎週火曜日夜7：27～）の関連商品を続々と投入します。

すでに、デジモンの変形・合体遊びが楽しめる「クロスフィギュアシリーズ」（1,890円～）の販売を開始したほか、10月中旬には主人公たちがデジモンの“召喚”“合体”を行うメインアイテム「デジモンクロスローダー」（7,140円）を発売します。

このほか、データカードダス（『デジモンクロスウォーズ 超デジカ大戦』第1弾は8月5日にスタート）や、カプセル商品、玩具菓子、日用品など、幅広いカテゴリーで商品展開し、番組を盛り上げていきます。

なお、関連商品には専用の二次元バーコード「ARコード」が付属しており、それを使って全国の販売店約200店舗に設置中のデジモン召喚バトル仕器「デジモンクロスアリーナ」で無料で遊ぶことができます。



「デジモンクロスローダー」
(7,140円/10月中旬発売予定)

©本郷あきよし・東映アニメーション・テレビ朝日・電通

「東京おもちゃショー2010」開催

7月15日～18日に東京ビッグサイトで「東京おもちゃショー2010」が開催され、延べ約16万人が来場しました。

バンダイブースでは、「天装戦隊ゴセイジャー」や「ハートキャッチプリキュア！」などの人気キャラクター商品をはじめ、生誕30周年を迎えた「ガンプラ」、人気の「ハイパーヨーヨー」の新商品を展示したほか、プロゴルファー石川遼選手のリアルフィギュア「DIGITAL GRADE MASTER REAL SWING 石川 遼」を初公開し、注目を集めました。

また、「ゴムダンス」などの実演コーナーや、人気キャラクターのステージショーなども行い、ブース内は連日多くのお客様で賑わいました。

なお、7月13日には「日本おもちゃ大賞2010」が発表され、バンダイは「仮面ライダーW DXダブルドライバー」がキャラクター・玩具部門で大賞を受賞したほか、5商品が優秀賞を受賞しました。



注目度の高かった「DIGITAL GRADE MASTER REAL SWING 石川 遼」
©2010 Ki Co.,LTD.



「仮面ライダーW DXダブルドライバー」が日本おもちゃ大賞2010のキャラクター・玩具部門で大賞を受賞。写真は授賞式の模様

ガンプラ生誕30周年を記念し “ANA×GUNDAM JET” 就航

バンダイは、「ガンプラ」生誕30周年を記念して、全日本空輸(株)、(株)創通、(株)サンライズと共同で、「ANA×GUNDAM SKY PROJECT」を展開しており、このプロジェクトの一環として、7月16日より“ANA×GUNDAM JET”を就航。ガンプラ30周年のコンセプト「REAL」にこだわりデザインされたラッピング機が、国内線で来年3月末まで運航する予定です。なお、機内では、ANAオリジナルカラーの限定「ガンプラ」を販売するほか、各種イベント・キャンペーンなどを展開していきます。

プロジェクト4社では、ガンダム世代はもちろん、共通の話題を通じて親子の絆を育むなど、大空を舞台にした夢のあるサービスを提供していきます。



機内で発売されている限定ガンプラの「HG 1/144 ガンダム G30th ANAオリジナルカラーVer.」

©創通・サンライズ

7月16日に実施の初便式の様子

アンパンマン リトミックステップ

発売中/4,179円 (株)バンダイ

「アンパンマン」のキャラクターでリトミック遊びができるプレイマットです。マットから流れる音楽やリズムに合わせてステップしたり、クイズに答えてボタンを押したり、さまざまなパターンに反応しながら体を動かすことで、リズム感・集中力・創造力の向上を促します。なお、本体に収録されている音楽やメロディ、プログラムは、幼児リトミックの第一線にある国立音楽院の監修を受け、リトミックの重要要素である「基本リズム」「即時反応」「模倣」を盛り込んでおり、ご家庭で本格的なリトミック遊びがお楽しみいただけます。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

ゴムダンスDX カンペキ!! パフォーマーセット

発売中/2,310円 (株)バンダイ

昭和の時代に女の子の定番遊びだった“ゴム跳び遊び”を現代風に進化させた新感覚スポーツ玩具。バンドを足首に装着し、付属CDの音楽に合わせて高度なステップやターンなど、アクロバティックなゴム跳び遊びができます。ゴムダンスは小学生に人気のバラエティ番組「ピラメキーン」(テレビ東京系列/毎週月～金曜日18:30～)と連動しており、番組内で小学生の挑戦者を募る参加型のゴムダンスコーナーなどを設け、商品を訴求しています。



©TV TOKYO/YOSHIMOTO KOGYO

スーパーロボット超合金 マジンガーZ

発売中/3,675円 (株)バンダイ

さまざまな時代のスーパーロボットたちを、コンパクトなサイズとコレクションしやすい価格で商品化した超合金の新ブランド「スーパーロボット超合金」の第1弾商品。約140mmとコンパクトサイズでありながら、他の超合金シリーズを凌駕する可動域を実現し、ポーズも自在です。番組の名シーンを再現できるエフェクトパーツや、別売りの「武器セット」(発売中/1,050円、『マジンガーZ』装着用)も充実しており、コレクションだけでなく、ディスプレイもこれまで以上に楽しめる仕様となっています。



©ダイナミック企画

カード創世 オリカギア

発売中/2,625円 (株)メガハウス

子どもたちの間で大人気となっているオリジナルカードの「オリカ」作り。そんな「オリカ」が簡単に作れる男児ホビー商品「カード創世 オリカギア」は、お子様が描いたイラストはもちろん、写真を切り抜いたものや、絵が苦手なお子様でも楽しめるように同梱した“創世シール”など、さまざまな組み合わせで世界にたった1枚の超激レアカードを作成することができます。また、専用ホームページでは、寄せられた「オリカ」を披露するコーナー「オリカミュージアム」を展開し、「オリカ」の世界を盛り上げていきます。



「カード創世 オリカギア」と作成した「オリカ」の例(右)



3Dゲームが楽しめる携帯型ゲーム機 「ニンテンドー 3DS」 対応ソフトを開発中

(株)バンダイナムコゲームス(石川祝男社長)は、任天堂(株)が今期中に発売を予定している裸眼立体視でゲームが楽しめる新型の携帯型ゲーム機「ニンテンドー 3DS」に対応したソフト5タイトルの開発を進めており、6月にアメリカ・ロサンゼルスで開催された世界最大のコンピューターゲーム関連の見本市「E3」でラインナップを発表しました。現在、開発および発売を予定しているタイトルは以下の通りです。

タイトル名	内 容
リッジレーサー (仮称)	スピード感あふれるレースゲーム「リッジレーサー」を立体視仕様にアレンジし、新要素をプラス
パックマン & ギャラガ (仮称)	オリジナルの「パックマン」と「ギャラガ」に加え、「ニンテンドー3DS」向けの新作も収録
ガンダム シリーズ (仮称)	立体視ならではのシステムや遊び方を取り入れた「ガンダム」シリーズ最新作
ドラゴンボール シリーズ (仮称)	立体視ならではのシステムや遊び方を取り入れた「ドラゴンボール」シリーズ最新作
スーパーロボット シリーズ (仮称)	立体視ならではのシステムや遊び方を取り入れた「スーパーロボット」シリーズ最新作

「GOD EATER」初の単独イベント 「GOD EATER フェス2010」開催

今年2月の発売以来、販売本数63万本を突破しているPSP専用ソフト「GOD EATER」の初の単独イベントとなる「GOD EATER フェス2010」が、7月11日に東京・秋葉原にあるAKIBA_SQUAREで開催されました。

GOD EATERの頂点を目指す、タイムアタック大会「フェンリルカップ」は予選からヒートアップし、白熱したバトルに会場は大いに沸きました。また、テーマソングを歌うalan出演のミニライブや、声優や開発者のトークショー、先行のグッズ販売など、盛りだくさんの内容となりました。

さらに、新タイトルのPSP専用ソフト「GOD EATER BURST」の発表では、通常版だけでなく、前作のセーブデータを引き継げるアペンド版の発売も発表。新たな展開を予想させるストーリーの演出に多くのファンは息のみました。初の試みとなった単独イベントでしたが、総勢約3,800人のファンが来場し、大盛況となりました。

(『GOD EATER』のプロデューサーのインタビュー記事を11ページに掲載しています)



©2010 NBGI

ミッフィー モバイルノートパソコン

9月30日まで予約注文予定 (株)バンダイナムコゲームス
Windows® XP Home Edition (SP3) : 79,800円
Windows® 7 Home Premium : 89,800円

子どもから大人まで幅広い層に人気の絵本の主人公「ミッフィー」。その誕生55周年を記念したオリジナルのモバイルノートパソコン。バンダイナムコゲームスの運営するキャラ



クター製品通信販売サイト「LaLaBit Market (ララビットマーケット)」で、9月30日まで予約注文を受け付けています。壁紙、アイコン、スクリーンセーバーにもオリジナルのデザインを採用し、幅広い層のお客様に楽しくご利用いただけます。

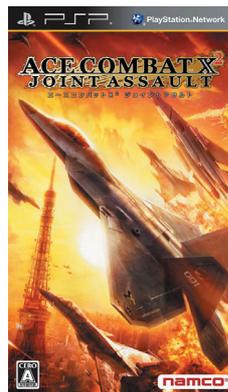
Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv, 1953-2010 www.miffy.com

PSP用ソフト

「エースコンバットX2 ジョイントアサルト」

発売中/UMD版: 5,229円 DL版: 5,230円
(株)バンダイナムコゲームス

本作は、シリーズ初となる実在の都市を戦闘の舞台として収録しており、東京、ロンドン、サンフランシスコ、エジプトなど、世界の主要都市で制空権をかけた空中戦を体験することができます。また、ゲーム初心者でも簡単に最高のドッグファイトを楽しめるように、機体制御やカメラワークなどにも新たなシステムを多数搭載。誰でも手軽にエースパイロットの気分を味わうことができます。



©2010 NBGI ©GeoEye ©JAPAN SPACE IMAGING CORPORATION
All trademarks and copyrights associated with the manufacturers, aircraft, models, trade names, brands and visual images depicted in this game are the property of their respective owners, and used with such permissions.

一番くじ いたすらぐまのグル〜ミ〜 〜SWEETS & MESSY PARTY〜

発売中/1回: 500円 (株)バンプレスト

今年で10周年を迎える人気キャラクター「いたすらぐまのグル〜ミ〜」を題材とした、コンビニエンスストアなどで展開する“ハズレなしのキャラクターくじ”です。原作者である森チャック氏の「一番くじ」オリジナルデザインを起用。「グル〜ミ〜」の特徴のひとつである“かわいらしさと凶暴さ”は表現しつつも、「スイーツ」を商品コンセプトとすることで、ファン層の拡大を図ります。「一番くじ」としては初の商品化となり、10周年の今しか手に入らない限定描き起こしデザインのみや、フェイスタオルなど、シンプルなラインナップながらも、“くじ”の魅力である限定感をアピールしていきます。



©2010 MORI CHACK

「機動戦士ガンダム UC episode 2 赤い彗星」 3メディアで同時展開

企画・製作を(株)サンライズ(内田健二社長)、パッケージソフトの販売をバンダイビジュアル(株)(大下 聡社長)が手がける「機動戦士ガンダム UC」シリーズ第1作目の「機動戦士ガンダム UC episode 1 ユニコーンの日」は、今年3月にイベント上映、パッケージ、配信の3メディアで同時展開し、大ヒットとなりました。その興奮が冷めやらぬ中、早くも第2話となる「機動戦士ガンダム UC episode 2 赤い彗星」の展開が決定しました。

今回も11月12日のパッケージ一般発売とPlayStation Storeでの配信開始に先駆け、10月30日から全国8館で2週間限定のイベント上映を行い、ご鑑賞いただいたお客様を対象にBlu-ray Discを先行販売します。第2話は、「赤い彗星」というタイトルのとおり、“シャアの再来”の異名をもつフル・フロントルが登場し、公開前から話題必至。ガンブラやゲームなども展開しており、グループを挙げて盛り上げていきます。



©創通・サンライズ

パッケージ：11月12日発売予定
Blu-ray Disc 6,090円
DVD 5,040円
上映：全国8館で10月30日より
2週間限定上映(チケット1,200円)
配信：PlayStation Storeで10月
30日配信開始予定。
HD1,000円,SD700円(予定価格)

最新OVA3作が競演、イベント上映「ANIME FES.“VS” presented by BANDAI VISUAL」開催

新世代のアニメファンにむけたイベント上映「ANIME FES.“VS” presented by BANDAI VISUAL」が、11月27日より全国5か所の映画館で開催されます。上映作品は、「FREEDOM」で幅広い映像ファンに人気を博し、サブカル・スタイリッシュアニメのジャンルを確立した森田修平監督の最新作「コイセント」。ゲーム、OVA、コミック、TVアニメと、壮大な展開を見せるバンダイナムコグループのキラークンテンツ「.hack」プロジェクトの最新作「.hack//Quantum」。

そして、永井豪とダイナミック企画によるスーパーロボットアニメ最新作「マジンカイザーSKL」を予定しています。



©選部2000年祭実行委員会
©2010永井豪/ダイナミック企画・マジンカイザー製作委員会
©.hack Conglomerate
©Quantum Project

◆ANIME FES.“VS” presented by BANDAI VISUAL

上映館：新宿バルト9、横浜ブルク13、伏見ミリオン座、梅田ブルク7、京都T-JOY
開催期間：第1回11月27日～、第2回12月25日～、第3回2011年1月22日～(各4週間を予定)
チケット：第1・3回1,800円(前売1,500円)、第2回1,200円(前売1,000円)

DVD「機動戦士ガンダム00 MEMORIAL BOX」

発売中/42,000円 バンダイビジュアル(株)
「機動戦士ガンダムF91」以来、実に19年ぶりとなる完全新作ストーリーで話題の「劇場版 機動戦士ガンダム00-A waking of the Trailblazer-」が、9月18日より全国松竹系で公開されます。その公開に先駆け、2シーズンにわたるTVシリーズ全50話を完全収録したメモリアルボックスが発売されました。特典には劇場版ナビゲーションディスクと劇場版ナビゲーションライナーノートが付き、TVシリーズの復習だけでなく、劇場版の予習もできる豪華版となっています。

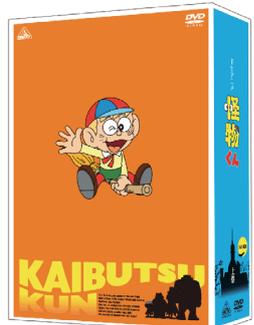


©創通・サンライズ・毎日放送

DVD「TVアニメ 怪物くん DVD-BOX 上・下巻」

9月24日・11月26日発売予定/各29,400円
発売元：シンエイ動画(株)・バンダイビジュアル(株)
販売元：バンダイビジュアル(株)

累計500万部以上を売り上げた藤子不二雄(ア)原作の傑作ギャグ漫画「怪物くん」。そのカラー版TVアニメが放送30周年を迎えるのを記念し、DVDボックスを発売します。最新のCG技術と特殊メイクで完全実写ドラマ化され、再び盛り上がりを見せる「怪物くん」シリーズですが、実はTVアニメのDVD化は今回が初めて。そんな記念すべきボックスには、1980年から放送された全188話とTVスペシャル、そしてノンテロップOP&ED集といった貴重な映像を収録しています。



©藤子スタジオ/シンエイ

CDアルバム 麻生夏子「Movement of magic」

発売中/初回限定盤(DVD付)：3,400円、通常版：3,000円
発売元：(株)ランティス 販売元：バンダイビジュアル(株)

昨年5月に鮮烈なデビューを飾った麻生夏子。シンガーとして1年で4本のタイアップ作品を発表し、今年1月にはTVアニメ「バカとテストと召喚獣」のオープニング主題歌を担当しました。彼女の透き通った歌声は、男性ファンはもちろん、同世代の女性からも支持を得ています。歌手としての活動のほかに、女優やラジオパーソナリティとしても活躍中の麻生夏子が、ついにファーストアルバム「Movement of magic」をリリースしました。初回限定盤には、これまでのPVとライブ映像を収録したDVDが同梱されています。



©2010 Lantis Co., Ltd.

キャラクターパッケージ型遊戯施設を全国各地で続々と展開

(株)ナムコ(橋 正裕社長)は、バンダイと共同企画した「たまごっち!」の世界観の中で歌って踊るアイドル体験ができる「たまごっちアイドルパーク」と、「ウルトラマン」の幼児向け屋内型遊戯施設「なりきりアスレチックウルトラヒーローズ」を、大型アミューズメント施設へ期間限定で導入を開始しました。

ナムコはこの2つの業態を“キャラクターパッケージ型遊戯施設”と位置付け、バンダイナムコグループならではのノウハウを活かした展開としてアミューズメント施設の差異

化を図るべく、出店戦略を強化。お子様の新しい遊び場を提供していきます。これら2施設は、可動式で期間限定設置が容易であるなど、投資効率がよく、集客効果も高いため、新たに開発中の新形態施設を含めて、2011年3月までに全国各地で合計27店舗を展開していく予定です。



たまごっちアイドルパーク



なりきりアスレチックウルトラヒーローズ

©BANDAI・WIZ/TV TOKYO・2009 Team たまごっちTV ©円谷プロ

夏のキャラクタータイアップイベント開催

ナムコは夏休み期間中、「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド&パール 幻影の覇者 ゾロアーク」の公開と連動した「ナムコでポケモンゲットだぜ!!」キャンペーンを全国192店舗で6月19日~8月31日に開催。抽選で賞品が当たる「ビンゴDE チャンス! キャンペーン」を実施したり、ナムコ限定ポケモン景品が登場しました。そのほか、初の試みとして、日本マクドナルド(株)が販売するハッピーセット「ポケットモンスター」とのタイアッププロモーションも実施。さらに8月7日からは、「夏だ!! ナムコで仮面ライダーW・ゴセイジャーまつり」を165店舗で開催し、オリジナルシールや特製3Dカードをプレゼント。ファミリーのお客様などに喜ばれました。



©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon ©2010 ビカチュウプロジェクト

「トーマスタウン新三郷」1周年イベント開催

9月17日にオープン1周年を迎える(株)プレジャーキャスト(和才 始社長)のアミューズメント施設「トーマスタウン新三郷」(埼玉県三郷市)が、お客様への感謝の気持ちを込めて9月4日~9月26日に「トーマスタウン1stアニバーサリー」を開催します。トーマスタウンステーションキャップのプレゼントや、トーマスと一緒に写真が撮れる「フォトロケーションウィズトーマス」が登場します。同施設は、6月7日にピングーやトーマスなどの著作権を所有する英ヒット・エンターテインメント社の「アトラクション・オブ・ザ・イヤー」を受賞したほか、(株)ソニー・クリエイティブプロダクツがライセンスを対象に実施している「HERO賞」を受賞し、新しいキャラクター施設として高く評価されています。



©2010 Gullane (Thomas) Limited.

ナムコ・ナンジャタウン情報

新アトラクション「怨念旅館」

新アトラクション「怨念旅館」を7月17日にオープン。「怨念旅館」は、霊を引き付ける力を持つ「能面蟹」とともに、廃旅館内の霊が写るといわれている撮影ポイントを巡り、心霊写真の恐怖が体験できる「心霊写真体感アトラクション」です。



夏休みスペシャルイベント

●劇場版NARUTO-ナルト- 疾風伝 ザ・ロストタワー 公開記念 NARUTO-ナルト- 疾風伝 inナムコ・ナンジャタウン (7月17日~9月26日)

「劇場版NARUTO-ナルト- 疾風伝 ザ・ロストタワー」の公開(7月31日)を記念して、期間限定アトラクションや、「NARUTO-ナルト-」をモチーフにした全32種類のデザート&フードが登場。

●冷やし餃子祭り2010 (6月26日~9月12日)
冷えているからこそおいしい“冷やし餃子”が登場。

●冷え冷えデザート博覧会 (6月26日~9月12日)
暑い夏にぴったりな「つめた〜いデザート」を100種以上集めて開催。

小中学生の本社企業訪問の受け入れを開始

ナムコは、子どもの社会教育活動に協力し、小中学生や学校関係者の当社に対するより深い理解を得るため、本社ビルでの企業訪問の受け入れを開始しました。昨今、小中学生の社会体験学習として、修学旅行中の会社訪問が広く導入されてきています。ナムコではこれまで、「ナムコ・ナンジャタウン」や「ナムコワンダーパークヒーローズベース」など、受け入れ可能な一部大型アミューズメント施設では実施してきましたが、今後は小中学生の企業訪問を全社で拡大していく予定です。



独自の世界観や江戸の街並み再現などで 地元浅草を活性化する「花やしき」

「花やしき」は、江戸時代末の^{かえい}嘉永6年（1853年）に造園師森田六三郎により、牡丹と菊細工を主とした花園として誕生。明治になってから遊戯施設が置かれ、珍鳥や猛獣の飼育、西洋あやつり大写真、山雀の芸などで評判となり、人気を博しました。震災や戦禍による閉園を経て1949年に遊園地として再建。以来、国産初の「ローラーコースター」をはじめ、20機種以上のアトラクションや飲食店舗を有する浅草のシンボルとして、毎年50万人以上のお客様が来園しています。

2004年に(株)バンプレストが「花やしき」の事業を継承。現在はバンダイナムコグループの屋外遊園地として、「花やしき」ならではの独自の世界観を展開しているほか、江戸の街並みの再現などで、地元・浅草の活性化にも積極的に取り組んでいます。これからも2011年に向けた新施設のオープンなどにより、「花やしき」らしい、そして浅草らしい遊園地づくりを目指していきます。



株式会社花やしき

住所 東京都台東区浅草2-28-1
設立 1985年4月15日
代表 代表取締役社長 田中英利
事業 遊園地「浅草花やしき」の企画・運営

<社長から一言>

当社はアミューズメント施設業界で浅草の下町老舗遊園地として、お客様に支持をいただいています。何度でもご来園いただくための工夫として、「花やしきエンターテイメント通り」のリニューアルを地域と連携して実施しており、江戸の街並み再現やエンターテインメントの提供を通じて、地元浅草の活性化に貢献し、花やしきの認知度向上につなげています。園内では施設の充実化を図るため、来年3月に新しい複合施設をオープンする予定です。また、お客様に安心してご利用いただくため、安全な施設管理と安心の運行管理による「安心空間」づくりを常日頃から心がけています。集客拡大についても、2012年春開業予定の東京スカイツリーにいらっしゃるお客様の誘致などを積極的に行っていきます。今後も浅草らしさを取り込んで街との共存共栄と活性化を図り、浅草を代表する観光地「花やしき」を目指します。



Portrait

現場から

ゴッドイーター PSP用ソフト「GOD EATER」のプロデューサー

株式会社バンダイナムコゲームス 富澤 祐介

PSP用ソフト「GOD EATER」は、新規オリジナルコンテンツにも関わらず、発売前より大変な話題となり、今年2月の発売から50日で60万本を販売するスマッシュヒットとなりました。今回は本作品のプロデューサー、富澤祐介に話を聞きました。

Q ヒットの要因は？

A 「GOD EATER」は、これまでにない新しいコンテンツでしたので、とにかくより多くの方に知ってもらい、納得して購入していただけるようさまざまな工夫をしました。その中でも効果的だったのが体験版の配布です。すべてのプロモーションを体験版プレイへの誘導に向けて行いました。体験版をプレイした方からはたくさんのご意見をいただき、それをもとに発売直前まで改良を行いました。これは通常あまりないことですが、営業・販売企画・プロモーション・開発などすべてのメンバーが「お客様が喜ぶことなら何でもやろう」という気持ちで一体となり、より楽しんでいただけるものに仕上げることができました。これがヒットの最大の要因だと思います。

Q これだけのヒットになるとは？

A まったく思っていませんでした。当初の目標は50万本と、かなり高いハードルでしたが、それを上回ることができて大変嬉しいです。今後はこの作品をどう育成していくかが大事です。お客様に飽きられないようにスピーディに、そして期待を超えられるものを提供し続けたいと思っています。

Q 10月には新作「GOD EATER BURST」が発売になりますね。

A 「GOD EATER」は、ハイスピードで爽快なアクション、独自の世界観、ストーリーが同時に楽しめることが人気となっています。新作は前作の良かった部分をさらに伸ばし、お客様の声を取り入れた“進化版”です。前作をお持ちの方には、進化版のアペンド版（拡張パック）をお求めやすい価格で販売することも考えています。さまざまな媒体を通して情報を提供することで、お客様にしっかりと納得してご購入いただきたいと考えています。いかにお客様とつながってご意見をいただくかを1番に考えたコンテンツですので、今後も同じ姿

勢で取り組みたいと思います。

Q このコンテンツをどうしていきたいですか？

A まずはしっかりとした作品づくりをすることで、次の目標として100万人が初日に購入していただけるくらいの人気コンテンツにしたいです。独自の世界観やストーリーもご支持いただいていますので、商品展開などでグループの横への広がりも着実に、ゲームの楽しさとキャラクターの魅力の相乗効果でコンテンツ価値を最大化していきたいです。

Q 今後挑戦したいことは？

A まずは「GOD EATER」の育成ですが、このほかにもゼロから新しいコンテンツを創出し、さまざまな出口でお客様に楽しんでいただけるものを作りたいと思います。



2001年4月にバンダイ入社。自販機カプセル商品部門を経て、2007年より現職

RG 1/144 RX-78-2 ガンダム

発売中/2,625円 (株)バンダイ

「ガンプラ」生誕30周年を記念し、バンダイが30年培ってきた技術を集結した新ブランド「RG (リアルグレード)」シリーズが誕生しました。豊富なカラーパーツ、魅せる動き、質感の表現などにこだわり、「本物」であることを追求した1/144スケール (全高約12.5cm) のブランドです。

第1弾は、「RG 1/144 RX-78-2 ガンダム」。新技術の「アドヴァンスドMSジョイント」を内部フレームに搭載し、ランナーから切り離すだけで可動ギミックを含む組立済みパーツが完成します。さらに、「リアリスティックデカール」を採用し、箔とマーキングを一体化させて、より金属的な表現を可能としました。そのほか、1/144スケールでは初めてとなる「コアファイター」から「コアブロック」への完全変形などを実現し、「ガンプラ」を作る楽しさを随所に実感できる仕様となっています。

全国の模型店、玩具店、家電量販店、ネット通販などで販売し、2011年3月末までに50万個の販売を計画しています。なお、シリーズ第2弾は、「RG 1/144 MS-06S シャア専用ザク」を発売予定です (詳細未定)。



©創通・サンライズ

DIGITAL GRADE MASTER REAL SWING 石川 遼

受注受付中/12,900円・送料別 (株)バンダイ

人気プロゴルファーの石川遼選手を1/6サイズで再現した彩色済みリアルフィギュアです。石川遼選手本人の顔、グリップ、また、実際に使用している周辺道具などを3Dデジタルスキャンなどの最新技術を用いて立体化し、精巧に再現しました。ポーズは、実際に石川選手の swings を写真と動画で多方向から撮影して造形することで、躍動感溢れるスイングフォームを忠実に再現。顔部分の塗装は、従来の手作業による彩色だけでなく、写真をもそのまま立体物に表現することができる高性能デジタル彩色“Digital Grade”の技術を用いることにより、肌の色、ほくろの位置などを細部まで表現しました。



©2010 KI CO., LTD.

本商品は、バンダイの公式ショッピングサイト「プレミアムバンダイ」(<http://p-bandai.jp/>)で限定販売されており、受注期間は2010年9月30日(木)まで。商品の発送は2010年12月ごろを予定しています。

iPad・iPhone・iPod touch向けコンテンツ 「太鼓の達人プラス」

配信中/1パック:600円 (株)バンダイナムコゲームス

バンダイナムコゲームスは、このほどアップル社製の携帯端末iPad、iPhone、iPod touch向けに、(株)ワーナーミュージック・ジャパンと共同でコラボレーションコンテンツを制作。「太鼓の達人プラス」でヒップホップグループ「RIP SLYME」の「太鼓の達人」アプリ限定曲「SU (from RIP SLYME) 『ディーブ・クレンジング』」を無料で配信しています。さらに、「楽園ベイバー」「太陽とピキニ」など、「RIP SLYME」の人気曲で構成した「RSぱっく」を、コンテンツ配信サイト「Appstore」で7月中旬より配信しています。

iPad、iPhone、iPod touchと、「太鼓の達人」のプレイスタイル (音楽に合わせて画面をタッチするだけ) の高い融和性を生かし、音楽アーティストとのコラボレーションを模索していたバンダイナムコゲームスと、活動10年目の節目に、ほかのアーティストでは実施例のないオリジナル企画を模索していた「RIP SLYME」の思いが一致し、業界の枠を越えた共同制作が実現しました。



©2010 NBGI Total artwork concept inspired by 赤塚不二夫 “天才バカボン” ©Fujio Production

G-SELECTION

9月24日より順次発売予定/各31,500円 バンダイビジュアル(株) (『機動新世紀ガンダムX DVD-BOX』のみ26,250円)

ガンプラ30周年や静岡での実物大立像公開、さらに「UC」や「劇場版00」と話題の絶えない「ガンダム」シリーズから、TVシリーズのスペシャルプライスDVDボックスが「G-SELECTION」として発売されます。9月から毎月、計5タイトルを、新規描き下ろしイラストの豪華ボックスで順次リリースします。お客様一人ひとりの心に残るとっておきのタイトルをスペシャルプライスでお届けし、「ガンダム」シリーズを一層盛り上げていきます。



機動戦士Vガンダム DVD-BOX (9月24日発売予定)



機動武闘伝Gガンダム DVD-BOX (10月27日発売予定)



新機動戦記ガンダムW DVD-BOX (11月26日発売予定)



機動新世紀ガンダムX DVD-BOX (12月22日発売予定)



∀ガンダム DVD-BOX (2011年1月28日発売予定) ©創通・サンライズ